

【国際研修】

第 1 回スリランカ本邦研修

(刑事司法実務改善～刑事訴訟の遅延解消に向けて～)

国際協力部教官

高 梨 未 央

1 目的及び研修の背景事情

(1) スリランカ民主社会主義共和国（以下「スリランカ」という。）は、2009年の内戦終結以降、平和の構築と社会の再建に努力を続けており、そのなかの重要課題の一つとして裁判所の機能改善、特に刑事司法の機能強化が挙げられる。

スリランカの刑事司法自体はそれほど脆弱なものではなく、いずれの関係機関も相当程度の能力を備えているものの、古い時代に英国から継受した複雑な刑事訴訟手続と実務慣行、訴訟当事者の保守的な態度、立証活動の非効率など、多くの細かな実務上の要因が積み重なって極めて深刻な手続の遅延を招いている状況にある。

これらの点の改善は、武力紛争中の重大犯罪の適切な処理という観点からも非常に重要である。

(2) そこで、今回の国別研修では、基礎的な刑事司法実務の改善に焦点を当て、テーマを「刑事訴訟の遅延解消」に絞ることとし、研修参加者については検察官・裁判官を中心に据え、これに重大犯罪の捜査に不可欠な鑑識活動の専門家も若干名加えて、2回の本邦研修を企画することとした。

本研修はその第1回目となるものである。

2 研修日程

令和2（2020）年1月26日（日）から同年2月8日（土）まで（移動日を含む。）の14日間。

詳細は別添1研修日程表を参照されたい。

3 場 所

法務省法務総合研究所赤れんが棟ほか

4 研修参加者

法務長官官房刑事担当訟務長官ほか10名（別添2参加者名簿のとおり）

5 研修総括（本研修プログラム）

(1) 研修内容について

研修プログラムは、日本の刑事司法の実情と、円滑且つ迅速な捜査・公判の遂行のために現場において留意されていることを紹介することを主眼に置いて構成した。

具体的には、東京地方検察庁の凶悪事件を取扱う本部係検事による講義、東京地方検察庁サイバー担当の講義及び見学、科学警察研究所の見学、刑事裁判の傍聴といった各分野の現場を直接体感できるようなプログラムを多く取り入れ、刑事手続きの詳細にわたる部分については国際協力部教官が補う形式で研修を進めた。

英米法系のバックグラウンドを持つスリランカでは、主に大陸法系を基礎とする日本と比較して刑事司法制度が大きく異なっており、検事が捜査に関わることもないが、刑事事件の捜査という点では共通する部分も多分にあり、研修参加者から積極的に質問等がなされていた。

また、日本の刑事司法の昨今の関心事項を紹介する意味合いも兼ねて、児童から正確な供述を得る手法、司法面接について、立命館大学仲真紀子教授による講義を実施したところ、司法面接の手法はまだスリランカでは浸透していないとのことで、研修参加者からは講義に高い関心を示すとともに、グループワークにも積極的に参加していた。

(2) 研修参加者発表について

研修参加者らが所属する各機関につき、現在のスリランカの訴訟遅延の原因や、司法における各機関の役割に関する発表が行われた。

人員不足がどの機関にも共通する問題点として存在しており、また、捜査・公判いずれの段階においても、法（又は前例、慣例）を硬直的に適用することが遅延の大きな原因になっているという印象を受けた。

(3) 総括

研修全体を通して研修参加者と講師との間で活発な議論がなされ、スリランカの現状や問題点についても研修参加者から積極的な発言があった。

また、発言は特定の研修参加者に偏ることなく発せられており、受講態度は非常に良好であった。

研修参加者のアンケート結果及び研修における研修参加者の態度を総合的に見れば、研修参加者は本研修内容について満足していることがうかがわれる。

本件国別研修は来年度までの2年間の枠組みであるが、スリランカの刑事司法の状況を改善するには、今後も（国別研修という形態を採用するかはおくとして）継続的な支援が必要と思われる。

本研修は、令和2年度に実施される第2回本邦研修とセットとなるよう、まずは基礎的な部分に重点を置いて実施したところ、新型コロナウイルス流行の拡大により令和2年度の研修予定は未確定な部分も多いが、より充実した研修となるよう担当者一同今後も努力して参りたい。

第1回スリランカ本邦研修(刑事司法実務改善～刑事訴訟の遅延解消に向けて～)日程

日付	曜日	午前	午後
1 / 26	日	入国	
1 / 27	月	10:00 12:00 JICAオリエンテーション	12:00 12:40 ICDオリエンテーション TIC
1 / 28	火	10:00 12:30 凶悪犯罪の初動捜査 - 初動捜査にあたっての留意点 - 東京地方検察庁 中畑知之検事 赤れんが	12:45 16:30 所長主催意見交換会 法曹会館 凶悪犯罪の初動捜査(続) ICD教官 赤れんが
1 / 29	水	10:00 11:30 科学的証拠について - 確たる証拠を求めて - ICD教官 TIC	14:30 16:45 科学警察研究所訪問 - 専門家は何をしているか - 千葉県柏市・警察庁科学警察研究所
1 / 30	木	10:00 12:15 検察における科学捜査(DF捜査について) - 検察官が知っておくべきこと - 東京地方検察庁 原島一郎検事, 吉田正宏情報解析官 東京地検DFセンター	14:30 17:00 研修参加者発表及び討議(続) 「スリランカにおける刑事手続遅延の現状と対策」 研修参加者 TIC
1 / 31	金	10:00 12:15 効果的な証人尋問(主尋問) - 証人に聞くべきこと・聞いてはいけないこと - ICD教官 TIC	13:30 17:00 効果的な証人尋問(反対尋問・再主尋問) - 信用性の弾劾と回復 - ICD教官 TIC
2 / 1	土		
2 / 2	日		
2 / 3	月	10:00 12:30 参考人事情聴取と裏付証拠・弾劾証拠 - 公判を見据えた参考人供述の位置づけと評価 - ICD教官 TIC	14:00 17:00 被疑者取調べと裏付証拠・弾劾証拠 - 公判を見据えた被疑者供述の位置づけと評価 - ICD教官 TIC
2 / 4	火	10:00 12:30 効率的な訴訟運営 - 訴訟の迅速化に向けた裁判所の取組 - UNAFEI細川教官 TIC	13:30 17:00 検察官の裁量 - 裁量権の効果的・効率的な行使 - ICD教官 TIC
2 / 5	水	10:00 12:00 主張立証の組み立て - 否認事件における公判検察官の技術 - ICD教官 赤れんが	13:30 15:00 裁判傍聴 東京地方裁判所
2 / 6	木	10:00 12:00 脆弱な証人に対する事情聴取 - 対象者を傷つけずに供述を得る方法 - ICD教官 TIC	15:30 16:00 裁判傍聴振り返り 赤れんが
2 / 7	金	10:00 11:00 研修の振り返りと今後取り組むべき事項についての討議 TIC	16:00 17:00 意見交換 赤れんが
2 / 8	土	11:00 11:30 評価会 TIC	
		出国	

第1回スリランカ本邦研修

1	ヘッティゲ デシルバ バルニカ
	Ms. HETTIGE DE SILVA Varunika Deputy Solicitor General, Criminal Unit, Attorney General's Department 法務長官官房刑事担当訟務長官
2	スワンドウルゴダ ナディー
	Ms. SUWANDURUGODA Nadee Senior State Counsel, Attorney General's Department 法務長官官房上級検事
3	プンチヘワ ウパラーワンナ
	Ms. PUNCHIHEWA Uppalawanna State Counsel, Criminal Division - Supreme Court Unit, Attorney General's Department 法務長官官房最高裁判所担当検事
4	ウェリカラ ガヤニー
	Ms. WELIKALA Gayani Assistant Secretary, Legal Division, Ministry of Justice, Human Rights and Legal Reforms 司法, 人権・法制改革省法務課次官補
5	クルップ ルワナディニ
	Ms. KURUPPU Ruwanadini Assistant Secretary, Legal Division, Ministry of Justice, Human Rights and Legal Reforms 司法, 人権・法制改革省法務課次官補
6	モハマド イルサーディーン モハマド ヤコブ
	Mr. MOHAMED IRSADEEN Mohamed Yacub Judge, High Court Batticaloa, Judicial Service Commission パッティカロア高等裁判所判事
7	ラーマナーダン カンナン
	Mr. RAMANATHAN Kannan Judge, High Court Vavuniya, Judicial Service Commission バブニヤ高等裁判所判事
8	スーセイダース デニス
	Mr. SOOSAITHAS Denis Judge, High Court Batticaloa, Judicial Service Commission パッティカロア高等裁判所判事
9	カルタラコララ ニローシャナ
	Mr. KALUTARAKORALA Niroshana Legal Officer, Legal Division, Sri Lanka Police スリランカ警察法務課法務官
10	モホマド ニサール ルーフル
	Mr. MOHOMED NISAR Ruhul Consultant Judicial Medical Officer, Health, Institute of Forensic Medicine and Toxicology 法医病理・毒物研究所司法・医務官
11	カルナラトネ チャミラ
	Ms. KARUNARATHNE Chamila Deputy Director-Secretariat for Coordinating Reconciliation Mechanisms (SCRM) 国民和解メカニズム調整事務局副課長

【研修担当/Officials in charge】

教官 / Professor 高梨 未央(TAKANASHI, Mio)

国際専門官 / Administrative Officer 吉田 有里(YOSHIDA, Yuri)